



例会 毎週金曜日 12:30～13:30 ホテル国際 21
事務局 〒380-0838 長野市県町 576 ホテル国際 21 内
☎026(235)2800 FAX026(235)0016
e-mail:nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp

会長／中野欣哉 幹事／宮原友昭 クラブ会報委員長／太田裕志
SAA／村田弘志 副SAA／佐藤吉朗

第1605回例会 2021年（令和3年）10月1日（金）

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
SERVE TO CHANGE LIVES

会長挨拶

中野欣哉会長



最初に、先日亡くなられた当クラブ元メンバーの中島道生さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

さて、これもまた訃報ですが、劇画作家のさいとうたかおさんが亡くなりました。連載発行部数202巻（約3億部）のギネス世界記録を突破したベストセラーコミックスの「ゴルゴ13」の原作者ですね。若い頃、夢中になって読み漁りました。当時は冷静に依頼を遂行し悪しきを倒し弱きを助けるヒーローのように思っていました。今になって良く考えると実は「殺し屋」で「悪い人」、今風に言えば「テロリスト」なんでしょうか。

時代が遷り私の息子、娘の時代の人気漫画は「ドラゴンボール」。「孫悟空」と言う主人公が切磋琢磨して、強い相手（または悪者）を倒し、自身がバージョンアップして行くと言うもの。

また、時代が遷り孫たちは皆さんご存知「鬼滅の刃」ですね。こちらは悪者に不幸にされた身内を助けるために苦勞して悪と戦い続けると言ったようなあらすじ。

どの時代もその時の「世」を反映しているものだとつくづく感じました。

10/8 本日のプログラム

ゲスト卓話 岡村 隆志さん
「事業の継続に必要な知的財産の視点」

幹事報告

宮原友昭幹事



・本日米山奨学会の普通寄付金に対する申告用領収書発行のご案内を皆様へFAXさせていただきます。会場入り口にも申込用紙がございますので、必要な方は、10月31日までに事務局にお申し出ください。

・10月24日に開催される秋の親睦ゴルフコンペのお申し込みが10月15日までとなっております。こちらも入り口に申し込み用紙がございますので、併せてよろしくお願いたします。

10月のお祝い事

おめでとうございます



<会員誕生記念>

藤澤克彦さん 瀧澤 聡さん 若麻績信昭さん

<夫人誕生記念>

南ゆき子さん 藤澤由佳子さん

<結婚記念会員>

池田修平さん 西沢 徹さん 高橋英司さん

10/8 (会員36名) 出席22名 出席率66.66%



- ・中野欣哉さん☆武さんようこそありがとうございます。私事ですが、一昨日ピーカンの木曾駒登ってきました
- ・轟 修平さん☆今日の卓話武彩伽さんです。ぶどうを作

っています。皆さん応援お願いします。

- ・川橋昭義さん☆武 彩伽さん卓話ご苦労様です。
- ・伊東義次さん・村田弘志さん・野村泰久さん☆美味しいぶどうを頂きます。
- ・高橋英司さん☆いよいよ秋らしくなってきました。きのこシーズンですね。
- ・若麻績信昭さん☆今日からグッチからレイバンの眼鏡に変わりました。
- ・村田秀雄さん☆信濃ゴルフクラブハンディキャップ23から20になりました。
- ・小山浩太郎さん☆轟さん復活おめでとうございます。2週間遅れですが。

・合計 15,500円 ・スヌーピー 3,090円
 ・累計 162,866円

講師紹介

轟 修平プログラム委員



武さんと知り合ったきっかけは、中野市のお寺の離れに今年から入られました。お寺の奥様と家内が非常に仲が良く東京から来て頑張っている娘さんがいるということで、応援を

しています。東京生まれの東京育ちですが、群馬県の中央農業大学校で学ばれて、群馬県を盛り上げるイノベーションアワードに出場し優勝しました。

早朝のアルバイトをしながら常に新しいことに挑戦していく努力家です。皆さん応援よろしくお願いします。



例 会 案 内

- 10月15日 休 会
- 10月22日 ガバナー補佐事前訪問例会
- 10月30日(土) ロータリーの森林(もり)例会
29日の例会を振替
- 11月 5日 ガバナー公式訪問例会

ゲスト卓話 武 彩伽さん

「東京生まれの私の中野市でぶどうを作っています。皆さんよろしくお願ひします！」



私は3年前群馬県の前橋市にある中央農業大学校に21歳の時に行きました。現在25歳です。農業と出会ったのが18歳の時で、それまで全く農業とは無縁でした。野菜の名前もスーパーに陳列してある程度しか知らず、畑も周りにある環境ではありませんでしたので土いじりもしたことはありませんでした。その頃は、養護教諭になるのが夢で看護大学に通っていました。大学1年のとき、海が好きで海に行く目的で鹿児島県の沖永良部島に2週間の住み込みのアルバイトで行きました。そこで、農業と出会いました。1日中外国の研修生達に交じり、お花の植え付け作業をしていました。単純な作業でしたが、朝から夕方まで作業をし、何もなかった畑に緑の苗が綺麗に植えられている光景を目にして何とも言えない達成感と感動を覚えました。当初は2週間の滞在予定でしたが、楽しくてしょうがなくお正月も実家に帰らず1年間その島にいました。大学も後期は休学しました。2年生に進級するにあたり、どうするか悩みました。周りの方の意見もありましたが、24時間ずっと一緒に作業をしていた仲の良い研修生が「今戻っても、身体は学校にあっても心はここにあるのではないか」と言われ、大学を辞めることを決意し、農業をやっていくことを決めました。そこから18~20歳の3年間かけて、色々な農家さんにお世話になりました。島から帰り料理も好きだったので、野菜農家で学びたいと思い飯山市の農家にお世話になりました。そこでは、お米屋や枝豆がメインで1年中キノコの栽培もしていました。その後も、山梨県の清里へ行ったり、山形のサクランボ農家にも行きました。

専門学校で2年間学んだ後は、以前お世話になった飯山の家族経営をしている農家さんへ就職をし、飯山へ住民票も移しました。一人暮らしをしていましたが、近所の良くしてくださるおばあちゃんの家に行き、週5日くらい一緒に夕飯を食べていました。おばあちゃんが孫にシャインマスカットを送るということで、現在お世話になっている中野市の80歳のおじいちゃんの家へ一緒に行きました。そこで、出会い農業についての夢の大切さなどを話しました。「やる気があるのなら畑を貸してやるからやってみないか」と言われ、25歳の新たな区切りとして挑戦しようと思いました。会社の中には、自分がああしたいこうしたいと思っても実際には出来ない。だったら、自分の思い描くようなことをやってみたいという気持ちが出てきて、御縁があり畑を借りることができ、中野市の竹原というところで今年から、ぶどうを作っています。ぶどうの知識も全くありませんが、周りの方に支えて頂き、1年も経っていませんが何とか収穫を迎えることができています。これから、皆さんに喜んでいただけるようなぶどうを作ることが夢です。頑張っていきたいと思ひます。